

鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：平成 29 年 3 月 24 日（金）9:30～

場 所：内閣府別館 9 階大会議室

議 題：宮城県栗原市及び千葉県旭市の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の発生に対する対応について

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な助言を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認された場合、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

平成29年3月24日
消費・安全局

宮城県及び千葉県における高病原性鳥インフルエンザの
疑い事例のこれまでの対応状況（3月24日5時現在）

- 1 昨日（23日（木））、宮城県栗原市の家きん農場において、死亡羽数が増加したため、当該農場から昨日13時55分に宮城県北部家畜保健衛生所に通報。
また、千葉県旭市あさひの家きん農場において、死亡羽数が増加したため、当該農場から昨日17時に千葉県東部家畜保健衛生所に通報。
- 2 当該死亡家きんについて簡易検査を行ったところ、宮城県の事例については昨日16時に、千葉県の事例については昨日19時42分に陽性と判明。
- 3 引き続き、遺伝子検査を実施した結果、宮城県の事例については本日2時40分に、千葉県の事例については4時20分に、いずれもH5亜型陽性と判明（疑似患畜と判定）。
- 4 本日、宮城県の事例については3時から、千葉県の事例については4時20分から、殺処分を実施しており、併せて埋却に向けた準備も現在行っているところ。

【農場概要】

<宮城県>

農場所在：宮城県栗原市

飼養形態：採卵鶏約22万羽

※ 半径3 km圏内の家きん飼養農場（発生疑い農場は除く。）

：3戸約6万羽

※ 半径3-10km圏内の家きん飼養農場：7戸約50万羽

<千葉県>

農場所在：千葉県

飼養形態：採卵鶏約7万羽

※ 半径3 km圏内の家きん飼養農場（発生疑い農場は除く。）

：6戸約39万羽

※ 半径3-10km圏内の家きん飼養農場：58戸約445万羽

平成29年3月23日
農林水産省対策本部決定

今後の対応方針

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施する。

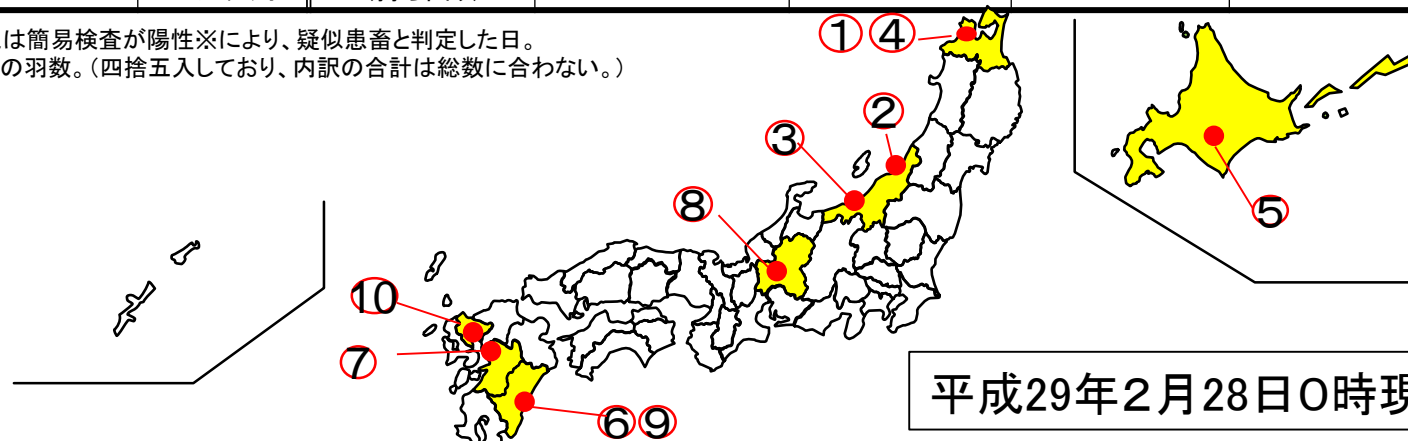
- 1 ①当該農場の飼養家きんの殺処分及び埋却、②農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、③半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
- 2 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
- 3 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
- 4 副大臣又は政務官を発生県に派遣する等により、発生県と緊密な連携を図る。
- 5 食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。
- 6 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、農林水産省及び動物衛生研究部門の専門家を現地に派遣。
- 7 殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。
- 8 疫学調査チームの派遣。
- 9 全都道府県に対し、本病の早期発見及び早期通報の徹底を改めて通知。
- 10 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

平成28-29年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について

発生概要(全7道県 10農場 約138.4万羽)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)				
事例	発生日 ^{注1}	発生場所	飼養羽数 ^{注2} /種別		措置完了日(0日目) ~ 10日目		21日目		
					防疫措置 (殺処分、消毒等)	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
①	青森県	2016年 11月28日	青森市	約1.8万羽 あひる	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
②	新潟県	2016年 11月29日	関川村	約31万羽 採卵鶏	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月20日完了	12月20日解除	12月27日解除
③	新潟県	2016年 11月30日	上越市	約24万羽 採卵鶏	11月30日	12月1日開始 12月6日完了	12月17日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月28日解除
④	青森県	2016年 12月2日 [※]	青森市	約4,700羽 あひる	12月2日 (持ち回り)	12月2日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
⑤	北海道	2016年 12月16日	清水町	約28万羽 採卵鶏	12月16日	12月17日開始 12月24日完了	1月4日開始 1月10日完了	1月10日解除	1月15日解除
⑥	宮崎県	2016年 12月19日	川南町	約12万羽 肉用鶏	12月19日	12月20日開始 12月21日完了	1月1日開始 1月5日完了	1月5日解除	1月12日解除
⑦	熊本県	2016年 12月27日	南関町	約9.2万羽 採卵鶏	12月26日 (持ち回り)	12月27日開始 12月28日完了	1月8日開始 1月12日完了	1月12日解除	1月19日解除
⑧	岐阜県	2017年 1月14日	山県市	約8.1万羽 採卵鶏	1月14日	1月14日開始 1月17日完了	1月28日開始 2月1日完了	2月1日解除	2月8日解除
⑨	宮崎県	2017年 1月24日	木城町	約17万羽 肉用鶏	1月24日	1月25日開始 1月26日完了	2月6日開始 2月10日完了	2月10日解除	2月17日解除
⑩	佐賀県	2017年 2月4日	江北町	約7.1万羽 肉用種鶏	2月4日 (持ち回り)	2月4日開始 2月6日完了	2月17日開始 2月21日完了	2月21日解除	2月28日解除

防疫対応終了

注1) 遺伝子検査がH5亜型陽性又は簡易検査が陽性[※]により、疑似患畜と判定した日。
 注2) 飼養羽数は、患畜、疑似患畜の羽数。(四捨五入しており、内訳の合計は総数に合わない。)



平成29年2月28日0時現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2016年11月以降）

2017年3月22日現在

【野鳥での検出状況】

- ・H5N6 52件
- ・H5N8 12件 ※2017年3月22日時点

京畿道（123件）

- ・楊州(ヤンジュ)市 2016年11月20日以降 7件
- ・抱川(ポチョン)市 2016年11月22日以降 24件
- ・利川(イチョン)市 2016年11月25日以降 21件
- ・安城(アンソン)市 2016年11月25日以降 25件
- ・平沢(ピョンテク)市 2016年11月28日以降 14件
- ・華城(ファソン)市 2016年11月29日以降 9件
- ・楊平(ヤンピョン)郡 2016年12月3日 1件
- ・驪州(ヨジュ)市 2016年12月6日以降 10件
- ・龍仁(ヨンイン)市 2016年12月9日以降 4件
- ・金浦(キムポ)市 2016年12月12日以降 3件
- ・果川(クァチョン)市 2016年12月17日 1件
- ・広州(クァンジュ)市 2016年12月18日 1件
- ・坡州(パジュ)市 2016年12月18日 1件
- ・漣川(ヨンチョン)郡 2017年1月12日 1件
- ・高陽(コヤン)市 2017年3月3日 1件(H5N8)

仁川広域市（1件）

- ・西(ソ)区 2016年12月26日 1件

江原道（4件）

- ・鉄原(チョルオン)郡 2016年11月30日 2件
- ・麟蹄(インジェ)郡 2017年1月7日 1件
- ・横城(フエンソン)郡 2017年1月9日 1件

忠清南道（61件）

- ・牙山(アサン)市 2016年11月23日以降 13件
- ・天安(チョナン)市 2016年11月24日以降 43件
- ・瑞山(ソサン)市 2017年1月6日 1件
- ・青陽(チョンヤン)郡 2017年2月22日 1件(H5N8)
- ・洪城(ホンソン)郡 2017年2月27日 1件(H5N8)
- ・論山(ノンサン)市 2017年3月1日 1件(H5N8)
- 2017年3月19日 1件(H5)

忠清北道（85件）

- ・陰城(ウムソン)郡 2016年11月16日以降 47件
- ・清州(チョンジュ)市 2016年11月19日以降 7件
- ・鎮川(テンチョン)郡 2016年11月23日以降 26件
- ・槐山(ケェサン)郡 2016年11月30日以降 3件
- ・忠州(チュンジュ)市 2016年12月5日 1件
- ・沃川(オクチョン)郡 2016年12月21日 1件

全羅北道（42件）

- ・金堤(キムジェ)市 2016年11月21日以降 5件
- 2017年2月6日 1件(H5N8)
- ・井邑(チョンウプ)市 2016年12月4日以降 22件
- ・高敞(コチャン)郡 2016年12月8日 1件
- 2017年2月24日以降 6件(H5N8)
- 2017年3月8日 1件(H5)
- ・扶安(プアン)郡 2016年12月8日以降 3件
- ・益山(イクサン)市 2017年2月27日以降 2件(H5N8)
- 2017年3月17日 1件(H5)

世宗特別自治市（17件）

2016年11月26日以降 17件

全羅南道（33件）

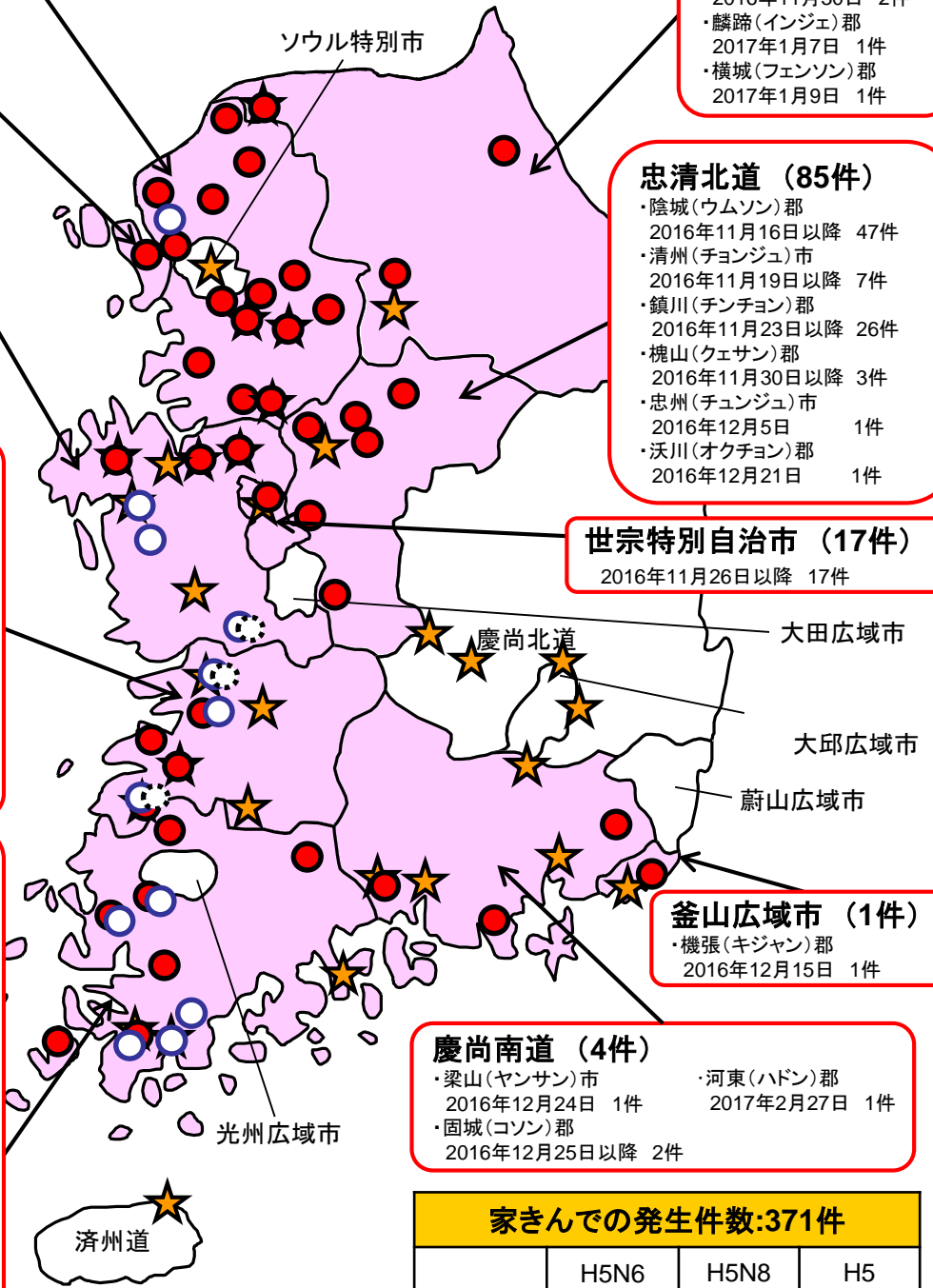
- ・海南(ヘナム)郡 2016年11月16日以降 2件
- 2017年2月21日 2件(H5N8)
- ・務安(ムアン)郡 2016年11月19日以降 3件
- 2017年3月10日以降 2件(H5N8)
- ・羅州(ナジュ)市 2016年11月28日以降 10件
- 2017年3月10日 1件(H5N8)
- ・長城(チャンソン)郡 2016年12月1日 1件
- ・求礼(クレ)郡 2016年12月17日 1件
- ・珍島(チンド)郡 2016年12月22日 1件
- ・靈岩(ヨンアム)郡 2016年12月24日以降 2件
- ・康津(カンジン)郡 2017年2月26日以降 5件(H5N8)
- ・長興(チャンフン)郡 2017年3月15日 3件(H5N8)

釜山広域市（1件）

- ・機張(キジャン)郡 2016年12月15日 1件

慶尚南道（4件）

- ・梁山(ヤンサン)市 2016年12月24日 1件
- ・河東(ハドン)郡 2017年2月27日 1件
- ・固城(ゴソン)郡 2016年12月25日以降 2件



- : 家きんでの事例(H5N6)
- : 家きんでの事例(H5N8)
- : 家きんでの事例(H5)
- ★ : 野鳥での事例
- : 家きんでの事例が確認された道

※ 日付は申告日
 ※ 垂型の記載のないものはH5N6垂型
 ※ 出典: 韓国農林畜産食品部

家きんでの発生件数:371件			
	H5N6	H5N8	H5
あひる	136	18	1
鶏	197	8	2
うずら等	8	0	0
混合	1	0	0
計	342	26	3

(殺処分羽数:3,690万羽) ※2017年3月22日時点

宮城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

昨日確認された宮城県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

1. 概要

昨日確認された宮城県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

今後、NA亜型について動物衛生研究部門（注）において検査を実施します。

（注）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関（部門長 坂本研一）

2. その他

- （1）当該農場は、農家から届出があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。
- （2）我が国では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- （3）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。
- （4）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：石川、木下

代表：03-3502-8111（内線4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX：03-3502-3385

千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

昨日確認された千葉県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

1. 概要

昨日確認された千葉県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

今後、NA亜型について動物衛生研究部門（注）において検査を実施します。

（注）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関（部門長 坂本研一）

2. その他

- （1）当該農場は、農家から届出があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。
- （2）我が国では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- （3）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。
- （4）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：石川、木下

代表：03-3502-8111（内線4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX：03-3502-3385

平成 29 年 3 月 24 日

家きんにおける^{こうびょうげんせい}高病原性鳥インフルエンザ確定事例に係る
環境省の対応について

環境省

宮城県栗原市及び千葉県旭市の農場における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例への環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km を「野鳥監視重点区域」に指定し、宮城県及び千葉県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 東北地方環境事務所及び関東地方環境事務所に、それぞれ宮城県または千葉県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を指示。
- 「野鳥緊急調査チーム」を現地に派遣予定。

※野鳥緊急調査チーム：現地の状況把握、指導助言等を実施。

※家きんの発生を受けての対応状況

確認日	場所	種類	野鳥緊急調査チームの派遣	野鳥監視重点区域の設定日
11月28日	青森県 青森市	あひる	12月1日～6日	11月28日
11月29日	新潟県 関川村	採卵鶏	12月1日～3日	11月28日
11月30日	新潟県 上越市	採卵鶏	12月6日～8日	11月30日
12月2日	青森県 青森市	あひる	12月1日～6日 ※1例目と併せて実施	11月28日
12月16日	北海道 清水町	採卵鶏	12月20日～23日	12月16日
12月19日	宮城県 川南町	肉用鶏	12月22日～24日	12月19日

12月27日	熊本県 南関町	採卵鶏	12月28日～30日	12月27日
1月14日	岐阜県 山県市	採卵鶏	1月17日～19日	1月14日
1月24日	宮崎県 木城町	肉用鶏	実施済み (12月22日～24日)	12月19日
2月4日	佐賀県 江北町	肉用種鶏	2月7日～9日	2月4日
3月24日	宮城県 栗原市	採卵鶏	準備中	3月23日
3月24日	千葉県 旭市	採卵鶏	準備中	3月23日

<野鳥等における取組>

- 冬鳥の渡来に合わせ、毎年10月～翌年4月に全国の渡来地で糞便を採集。また、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、鳥インフルエンザウイルスの保有状況を調査（野鳥サーベイランス）。
- 今シーズンは、野鳥等において22都道府県218例の高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が確認され、1シーズンで過去最高の確認件数。
- 3月に入ってから、野鳥での発生は下火になってきている状況であるが、3月～5月あたりまでは渡り鳥が戻っていく過程で新たな場所に飛来する可能性があるため、注意が必要である。
(参考)野鳥での発生件数：11月30件、12月113件、1月63件、2月8件、3月4件
- 全国で野鳥の死亡が続発していることを踏まえ、平成28年12月27日（火）に「鳥インフルエンザ等野鳥対策に係る専門家グループ緊急会合」を開催。野鳥の死亡が続発している地域での検査の効率化、給餌の見直しの周知等について合意。各都道府県に対し、この結果とともに、一層の監視の強化と迅速な情報共有の徹底を通知。

場所	検体	検出日
鹿児島県 出水市 <small>いずみし</small>	ねぐらの水（1例）	11月18日
	ナベヅル23羽	11月22、24、28、29、12月2、5、7、9、12、16、19
	ヒドリガモ3羽	11月28日、12月6日
	カモ類糞便（1例）	11月28日
	オナガガモ1羽	11月29日
	マナヅル1羽	11月29日
秋田県秋田市	コクチョウ3羽	11月21、28日
	シロフクロウ3羽	11月30日、12月12日
鳥取県鳥取市	カモ類糞便（3例）	11月21、28日
〃 米子市	コハクチョウ2羽	11月30日
岩手県盛岡市	オオハクチョウ9羽	11月28日、12月26日、1月2

		日、6日、18日、2月20日、3月14日、3月21日
	マガモ1羽	3月1日
〃 滝沢市	マガモ1羽	12月19日
〃 一関市	コハクチョウ1羽	12月22日
	オオハクチョウ2羽	12月30日、1月4日
〃 花巻市	オオハクチョウ1羽	1月2日
	コハクチョウ2羽	1月2日、1月4日
	ハクチョウ類1羽	1月13日
〃 大船渡市	オオバン1羽	1月4日
〃 紫波町	オオハクチョウ1羽	2月1日
宮城県登米市	マガン1羽	11月29日
〃 栗原市	マガン1羽	12月5日
兵庫県小野市	カモ類糞便(1例)	12月1日
〃 西宮市	キンクロハジロ1羽	1月13日
	ユリカモメ1羽	2月1日
〃 伊丹市	コブハクチョウ15羽	1月18日、24日、30日、2月2日
北海道苫小牧市	ハヤブサ1羽	12月5日
〃 北見市	オオハクチョウ2羽	12月8日、13日
〃 上士幌町	フクロウ1羽	12月20日
〃 音更町	ハヤブサ1羽	12月22日
〃 白老町	オナガガモ1羽	12月28日
〃 厚岸町	オオハクチョウ3羽	1月24日、27日
〃 浜中町	オオハクチョウ1羽	3月6日
新潟県阿賀野市	コハクチョウ13羽	12月7日、12日、13日、20日、22日、28日
	オオハクチョウ2羽	12月13日、1月27日
〃 上越市	ハシボソガラス1羽	12月9日
	ハヤブサ1羽	12月9日
〃 新潟市	コハクチョウ1羽	12月28日
〃 村上市	ハヤブサ1羽	1月13日
茨城県水戸市	オオハクチョウ1羽	12月7日
	ユリカモメ7羽	12月12日、26日、30日、1月6日
	コブハクチョウ30羽	12月13日、16日、26日、27日、30日
	コクチョウ14羽	12月26日、30日、1月6日、12日、21日、25日、31日
	カンムリカイツブリ3羽	12月30日、1月6日
	ホシハジロ1羽	12月30日
〃 鹿嶋市	ユリカモメ2羽	12月26日、1月6日
	オオハクチョウ2羽	1月6日、31日
〃 ひたちなか市	ユリカモメ1羽	12月30日

〃 潮来市	オオハクチョウ 1羽	1月21日
福島県福島市	オオハクチョウ 1羽	12月8日
〃 鏡石町	オオハクチョウ 1羽	12月28日
愛知県名古屋市	コクチョウ 3羽	12月12日
	シジュウカラガン 4羽	12月、10、13、28日
	マガモ 2羽	12月13日
	ヒドリガモ 1羽	12月13日
	飼養施設の水（2例）	1月5日
〃 豊橋市	ヒドリガモ 1羽	1月13日
〃 西尾市	ホシハジロ 2羽	1月13、27日
	スズガモ 1羽	1月20日
〃 蒲郡市	スズガモ 1羽	2月6日
青森県八戸市	オオハクチョウ 1羽	12月15日
	オオタカ 1羽	1月11日
〃 三沢市	コブハクチョウ 1羽	12月20日
	オオハクチョウ 1羽	1月6日
〃 弘前市	オオタカ 1羽	12月22日
〃 平内町	オオハクチョウ 1羽	12月22日
〃 むつ市	オオハクチョウ 1羽	12月22日
〃 十和田市	オオハクチョウ 1羽	1月6日
栃木県真岡市	オオタカ 1羽	12月16日
〃 大田原市	オオハクチョウ 1羽	1月27日
〃 那須塩原市	オシドリ 1羽	2月27日
三重県明和町	オオタカ 1羽	12月20日
長崎県諫早市	ハヤブサ 1羽	12月28日
京都府京都市	コブハクチョウ 7羽	12月23日
山口県山口市	ホシハジロ 1羽	1月17日
滋賀県草津市	オオバン 1羽	1月20日
大分県宇佐市	ノスリ 1羽	1月27日
石川県加賀市	ヒシクイ 2羽	2月6日
東京都足立区	オナガガモ 1羽	2月15日
岐阜県各務原市	ハヤブサ 1羽	3月1日